

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	伝統芸能公演事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部署名	市民文化部 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造			
					Ⅲ-3-(2)			
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、組踊等の本県伝統芸能の公演会を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,872					
		(b) 予算現額	4,872					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	4,872	0				
	B. 執行済額		4,872					
	うち交付金充当額		3,897					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・当初計画どおり事業実施。活動目標、成果目標を達成。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	伝統芸能公演実施	目 標	(1回)	()	()	()		
		実 績	1回					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
	達成状況説明	組踊の古典作品である「執心鐘入」と新作「組踊版スイミー」の2作品をセットした公演を1回開催した。						
	成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
伝統芸能公演実施回数		目 標	(-)	(1回)	()	()	()	
		実 績		1回				
来場者数		目 標	()	(900人)	()	()	()	
		実 績		900人				
進捗状況説明		・目標の900名の来場者を達成した。 ・終演後のアンケートでは、「感動した。沖縄の誇るべき文化財産だ」、「多くの市民に観てほしい」「毎年開催して欲しい」などの声が寄せられ、伝統芸能に対する理解、普及が図られた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・アンケートでの評価が高かったことから、事前の周知を強化することにより、集客の拡大が期待できる。 ・入場無料としたことにより、関心の薄かった層を集客することができ、組踊への理解を拡げることができた。	・事前の周知方法を強化し、集客の拡大を図る。
今後の取り組み方針		
平成25年度は「組踊公演」に加え、「沖縄芝居公演」を実施する。 伝統芸能の承継に多くの市民の理解と支持を拡大していく。 公演の鑑賞を通して、伝統芸能を承継していく人材を発掘していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>4,872</td><td>4,872</td><td>3,897</td><td>975</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	4,872	4,872	3,897	975	
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
4,872	4,872	3,897	975											
那覇市 4,872千円 → 沖縄芝居実験劇場 4,872千円 〔 伝統芸能組踊公演実施 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 項目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、事業(組踊公演)の実績を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。 ・受益者負担については、入場料無料とすることにより関心の薄かった層を集客でき、事業の目的(伝統芸能の普及)に合致できたものと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市										
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	7－②		市民文化発信事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)		
担当部課名	市民文化部 文化振興課			事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所		伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄振興に資する市民文化の創造と発展のため、ジャズや平和劇を通じた市民文化の発表と発信に取り組む。										
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）										
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,184								
		(b) 予算現額	3,187								
		(c) 増減額 (b-a)	3								
		(d) 前年度繰越額	－								
		A. 計 (b+d)	3,187	0							
	B. 執行済額		3,187								
	うち交付金充当額		2,549								
	次年度繰越額		0								
	執行率（％）(B/A)		100.0%								
予算の状況の説明		・当初計画どおり事業実施。活動目標、成果目標を達成。									
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）			達成状況							
				24年度	25年度	26年度	27年度				
	平和音楽劇、ジャズ音楽公演実施各1回	目 標	(2公演)	()	()	()	()				
		実 績	2公演								
		目 標	()	()	()	()	()				
		実 績									
	達成状況説明	那覇平和芸術祭と銘打って、平和音楽劇「HAGANA～信念の人～」と「ふれあいジャズフェスティバル」公演を各1回実施した。									
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）			基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）			
	平和音楽劇、ジャズ音楽公演実施各1回	目 標	()	(2公演)	()	()	()	()			
		実 績		2公演							
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	()			
		実 績									
	進捗状況説明	・公募により参加した市民が、那覇市芸術監督の指導と練習を重ね、平和音楽劇「HAGANA～信念の人～」を公演し好評を博した。 ・市内小中学校21校が参加した「ふれあいジャズフェスティバル」公演を実施し、盛況を収めた。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	- 新規メンバーの拡大(平和音楽劇) - 参加校の更なる拡大(ジャズフェスティバル) - 事業の魅力をPRし、参加者の拡大を図るため、募集活動の強化が必要。	事業PRを強化し、参加者の拡大を図る。
今後の取り組み方針		
平成25年度も継続して市民文化発信事業を実施する。 市民や学生参加の「平和音楽劇」・「ふれあいジャズフェスティバル」を開催していく。 10.10空襲の歴史を風化させることなく、平和を希求する心を音楽劇とジャズで発信する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,187	3,187	2,549	638	
<pre> graph LR A[那覇市 3,187千円] --> B[委託費 3,172千円] A --> C[需要費 13千円] B --> D[安田辰也那覇市芸術監督 1,450千円] B --> E[沖縄jazz協会 1,721千円] C --> F[榎安木屋 16千円] D --- G["平和音楽劇 「HAGANA～信念の人～」 公演実施"] E --- H["平和音楽劇 「ふれあいジャズフェスティバル」 公演実施"] F --- I["額縁の購入"] </pre>				
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、事前の指導や舞台演出等の実績を勘案し選定しており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7ー③ ハイサイ啓発推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)			
担当部課名	市民文化部 市民課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな分化の創造		
Ⅲ-3-(2)								
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチによる案内人を庁舎内に配置し、ウチナーグチの啓発活動を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,700					
		(b) 予算現額	2,700					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,700	0				
	B. 執行済額		2,700					
	うち交付金充当額		2,160					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	「ウチナーグチ」で案内業務を行う窓口案内人の配置：2～5人	目 標	（ 案内人配置 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	2～5名の案内人を配置					
	ウチナーグチによるミニ講演会の開催 ・ハイサイロゴ入キーホルダー1000個配布 ・ハイサイロゴ・ウチナーグチ例文入封筒10000枚作成	目 標	（ 講演会16回開催 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	講演会12回開催					
達成状況説明	案内人の人数を増やし、配置場所の工夫やアピール度UPに努めた。ミニ講演会については、効果的な運動のPRに繋げていくため、講演者の知名度やレベルを高めたため、回数を減らして対応した。その他、ハイサイロゴマーク入キーホルダーや転入者向けの情報冊子用封筒（ハイサイロゴマーク、ウチナーグチ日常会話例文印刷入）を作成して、様々な形でウチナーグチ普及運動に取り組んでいることをPRした。 アンケート調査を実施して、市民の意識や反応についても調査した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	ハイサイ運動の認知度：50%	目 標	（ なし ）	（ 50% ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		40%				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	アンケートは配布枚数1,200枚、回収枚数1,174枚 アンケートの質問「ハイサイ運動」のことを知っていますか？の問いに知っていると回答された率が40%、知らないが聞いたことがあると回答されたのが19%の結果となった。成果目標については、認知度を「知っている」に限れば、目標に届いていないが、「聞いたことがある」も含めれば、目標を超えるので、概ね達成したものと考えることができたと考える。アンケート結果を踏まえ、より啓発運動の強化に取り組む必要があると考える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	これまで、窓口で実施したことがない事業であったため、案内人との調整や対応について手探りで取り組んできた。 来庁した市民に対する「ハイサイ・ハイタイ」の声かけ、挨拶から初めて、少しずつコミュニケーションの雰囲気づくりに進めていった。案内人と来庁者のウチナーグチのスキルの差については、高齢者の案内人が臨機応変に対応されていたと感じられ、世代間のギャップの大きさ、日常会話におけるウチナーグチの衰退を改めて確認した。また、高齢者案内人の採用については、人当たりがよく、日常生活へのウチナーグチの浸透に馴染み易かったと思われるので、人選は適切なものだったと考えている。運動の趣旨に賛同いただけなかった市民の方々への今後のアプローチ、PRの方法が課題である。	来庁者や職員向けへの雰囲気づくりになったと思われるが、今後はそれを活かし、庁舎各窓口においても、躊躇なく「ハイサイ」の挨拶が、誰でもできるよう推進する必要がある。それによって、運動の広がりが担保され、伝統文化の継承発展に繋げられるものとする。 日常業務の中で、ウチナーグチをどのように定着させていくかが、今後の課題である。
今後の取り組み方針		
今後とも、窓口での市民満足度アンケートで認知度について検証を行っていく予定である。また、窓口委託事業者も積極的にウチナーグチでの対応を推進していくことになっているので、継続的なPRを勧めることができるものと考えている。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,700	2,700	2,160	540	

那覇市
2,700千円

委託料
2,700千円

公益社団法人
那覇市シルバー人材センター
2,700千円

〔ハイサイ窓口推進事業にかかる委託業務〕

資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	※委託業者は、業務内容を鑑み、高齢者でウチナーグチでの会話可能な人材が豊富であると捉え、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号に基づき、福祉施設等との随意契約とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	※予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-⑤ 琉球伝統芸能継承発展事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-5-(1)-ア		
担当部署名	学校教育部 青少年育成課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を大切に、誇りに思う健全な青少年の育成	
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、伝統芸能楽器を青少年健全育成関係団体等へ貸出し、子ども達が伝統芸能に触れる機会を広く提供する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,117				
		(b) 予算現額	3,117				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,117	0			
	B. 執行済額		1,735				
	うち交付金充当額		1,388				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		55.7%				
予算の状況の説明		・不要額が138,1千円発生しているが、備品（楽器）購入費の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	楽器の購入：三線、大・中太鼓、締太鼓	目 標	三線→100 （大・中太鼓→30） 締太鼓→30	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績	三線→100 大・中太鼓→30 締太鼓→30				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
達成状況説明	予算の範囲内で、予定していた楽器の購入ができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 （24年度）	24年度	25年度	26年度	目標値 （27年度）
	各伝統芸能楽器（三線・大太鼓・中太鼓・締太鼓）貸出数	目 標	（ 2団体 ）	（ 2団体 ）	（ ）	（ ）	（ 15団体 ）
		実 績		2団体			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	今年度は年度末頃に購入した楽器の納品があったため、貸出した団体数が少ないが、次年度以降は広報・周知活動を行いながら貸出す団体を増やして行きたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	●楽器の保管(場所) ●市内団体への周知活動	●可能な限り、少ない箇所での楽器保管を行いたい。
今後の取り組み方針		
楽器が無料で貸出されていることをより多くの市内団体へ周知させるPR活動を行う。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
1,735	1,735	1,388	347	0

```

graph LR
    A[那覇市  
1,735千円] --> B[備品購入費  
1,609千円]
    A --> C[需用費  
122千円]
    A --> D[役務費  
4千円]
    B --> E["株式会社  
島ピアノセンター  
1,609千円"]
    C --> F["文進印刷株式会社  
82千円"]
    C --> G["株式会社  
島ピアノセンター  
20千円"]
    C --> H["株式会社メイクマン  
20千円"]
    D --> I["切手購入"]
    E --- J["楽器の購入"]
    F --- K["印刷製本"]
    G --- L["楽器に係る消耗品の購入"]
    H --- M["消耗品"]
  
```

The flowchart illustrates the distribution of 1,735 thousand yen from Naha City. The funds are primarily used for equipment purchase (1,609 thousand yen) and other expenses (122 thousand yen). Equipment is purchased from Island Piano Center Co., Ltd. Other expenses are split among Wajin Printing Co., Ltd., Island Piano Center Co., Ltd., and Meikuman Co., Ltd. Service fees (4 thousand yen) are used for stamp purchases. Brackets on the right link each recipient to their specific activity.

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-⑥	伝統芸能・文化の継承発展補助事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部署名	市民文化部 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造			
	Ⅲ-3-(2)							
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと保存・継承に関わる活動に対して補助を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000					
		(b) 予算現額	2,000					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,000	0				
	B. 執行済額		1,460					
	うち交付金充当額		1,167					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		73.0%					
予算の状況の説明		・5団体への補助を達成した。 ・募集開始の時期が年度後半となり、補助事業の計画、執行が困難な団体があり当初予算額を執行できなかった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
				24年度	25年度	26年度	27年度	
	・市内各地の伝統芸能文化の掘り起こし ・保存継承活動に対し補助を行う	目 標	(5団体)	()	()	()	()	
		実 績	5団体					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	達成状況説明	・市内各地の伝統芸能文化の掘り起こしと活動団体の確認を行い、当該団体が行っている保存継承活動に対して補助を実施した。						
	成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
伝統芸能文化の保存継承活動支援団体数		目 標	()	(5団体)	()	()	()	
		実 績		5団体				
【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明		・伝統音楽、舞踊、獅子舞等の継承にとりくむ地域の5団体に補助を実施した。 ・補助の実施により地域の伝統芸能継承の機運が更に高まった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業の周知を強化し、さらに対象団体の発掘を行う必要がある。 ・地域の伝統芸能継承団体の高齢化が進んでおり、後継者の育成が急務との実態が浮き彫りとなった。	・事業の周知を強化し、対象団体の発掘、拡大を行う。
今後の取り組み方針		
平成25年度は10団体を目標に事業を実施する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>1,460</td><td>1,460</td><td>1,167</td><td>293</td><td></td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,460	1,460	1,167	293	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,460	1,460	1,167	293											
那覇市 1,460千円 補助金 1,460千円 首里キューナ保存会 300千円 国場民族芸能保存会 291千円 首里王府路次楽・御座楽保存会 300千円 安里南之島保存会 270千円 首里汀良町獅子舞保存会 300千円 (衣装の購入) (太鼓の購入) (楽器の修繕・購入) (衣装、ドラ等の購入) (獅子舞の陳列棚の制作)														
資金の流れ、 点検・費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-⑦	那覇市舞台芸術体験事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)	
担当部署名	市民文化部 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造		
	Ⅲ-3-(2)						
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させ、成果発表会を開催する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,415				
		(b) 予算現額	5,415				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,415	0			
	B. 執行済額		5,390				
	うち交付金充当額		4,312				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.5%				
予算の状況の説明		・当初計画どおり事業実施。 ・不用額は音響システム購入費の落札差額。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・ウチナーグチを使った舞台劇を小中学生に実演体験させる ・成果発表会を開催する。	目 標	（ 成果発表会1回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	成果発表会1回開催				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	・参加生徒は目標を下回った。募集期間が短く、生徒に対し事業の意義や魅力を十分に周知できなかった。 ・石嶺中学校生徒19人が参加。那覇市芸術監督のオリジナル作品「負きてえならん」を15回のワークショップを実施。 ・パレット市民劇場にて成果発表を行い、観客（200人）に好評を博した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	舞台芸術体験事業参加児童生徒数（25名の生徒の参加）	目 標	（ ）	中学校1校参加生徒 25名	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		中学校1校参加生徒19名			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	・石嶺中学校生徒19人が参加。那覇市芸術監督のオリジナル作品「負きてえならん」を15回のワークショップを実施。 ・パレット市民劇場にて成果発表を行い、観客（200人）に好評を博した。 ・参加生徒はウチナーグチの魅力を実感し、継承することの意義を認識し意欲を示した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業の魅力を十分にPRL生徒の参加意欲の増進を図る。	・事業の魅力を十分にPRL参加生徒の拡大を図る。
今後の取り組み方針		
平成25年度は、小学校及び中学校の各1校で実施する。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
5,390	5,390	4,312	1,078	

```

graph LR
    A[那覇市  
5,390千円] --> B[委託費  
3,500千円]
    A --> C[備品購入費  
1,890千円]
    B --> D["安田辰也那覇市芸術監督  
3,500千円"]
    C --> E["(有)システム・エス  
1,890千円"]
    D --- F["ワークショップ  
成果発表公演実施"]
    E --- G["音響システム一式の購入"]
  
```

市町村名	那覇市						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7－⑧	伝統文化継承種まき事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－ウ	
担当部課名	こどもみらい部こどもみらい課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の発展のため、保育所へ伝統文化の専門講師を派遣して伝統文化の継承に取り組む。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,631				
		(b) 予算現額	1,631				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	1,631	0			
	B. 執行済額		1,619				
	うち交付金充当額		1,295				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.3%				
予算の状況の説明		ほぼ計画どおりに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	保育所へ伝統文化の専門講師を派遣する。	目 標	(12回)	()	()	()	
		実 績	12回				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	公立保育所において、琉球舞踊や空手、方言などに精通している方々を講師として、 2回／月、10月から3月までの連続で体験することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	保育所1ヶ所あたりの実施回数	目 標	(-)	(12回)	()	()	()
		実 績		12回			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	12回行えたので、児童は沖縄の文化芸能に興味を示し、曲を口ずさんだり、「琉球」や「獅子」「紅型」の文字に反応するようになった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	琉球舞踊、空手、方言などの設定は、0～5歳の年齢幅があるので内容がぼやけてしまう。伝統文化の「種まき」としたレベルで行う。	直接、指導を受ける効果は、大きいので事業を継続し、後継者の育成、沖縄の振興へつなげる。
今後の取り組み方針		
●地域の伝統文化に精通する方々による指導は、真にわかりやすく効果が大きいので継続していく。また、幼児からの取り組みにより沖縄の理解を深め、継承に資することを図る。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

那覇市

1,619
千円

講師謝礼金
720千円

→

(有)育陶園ほか4
8か所への謝礼
金

消耗品費
899千円

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
1,619	1,619	1,295	324	0

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
○ ○ — ○		支出先の選定方法は妥当か。	保育の場でも専門講師による質の高い指導が受けられ、伝統文化の継承に資することが図られる。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7ー⑨ 子どもが輝くまちづくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章ー5ー(4)ーイ			
担当部課名	学校教育部 青少年育成課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進		
事業内容	IIIー3ー(2)							
事業内容	沖縄振興に資する伝統文化の継承発展のため、子ども達の伝統芸能活動等についての発表の場づくりに取り組む。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	713					
		(b) 予算現額	713					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	713	0				
	B. 執行済額		603					
	うち交付金充当額		482					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		84.6%					
予算の状況の説明		・不用額が110千円発生しているが、子どもフェスタ運営費の実績残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	「子どもフェスタinなは」を開催し、子供達の活動発表の場を創出	目 標	(子どもフェスタの開催)	()	()	()		
		実 績	子どもフェスタの開催					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	2箇所(パレット市民劇場、琉球新報ホール)にて、舞台の部が32団体、展示・体験の部が10団体参加して、「子どもフェスタinなは」を開催した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)	
	子どもフェスタ参加児童生徒数	目 標	(0人)	(600人)	()	()	(750人)	
		実 績		630人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	舞台出場の参加児童生徒数を目標値600人(参加団体数30団体×20人/団体)とし、実績は32団体参加し、計630人が参加した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	●開催場所(会場)の選定 ●よりよい集客方法の検討	●当日(リハーサル含め)の運営方法の見直し
今後の取り組み方針		
現在、フェスタ開催・運営は行政主導で行われているが、今後は地域や民間の方々中心に運営ができるような仕組みづくりを考えていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>643</td><td>603</td><td>482</td><td>121</td><td>40</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	643	603	482	121	40
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
643	603	482	121	40										
那覇市 603千円 補助金 603千円 子どもフェスタinなは 実行委員会 603千円 子どもフェスタinなは開催に係る経費の補助 実行委員会負担分 (交付対象外経費) 40千円														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-⑪		壺屋の歴史・文化発信事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部課名	市民文化部 文化財課 (※平成24年度中/市民文化部 博物館)		事業実施 (予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、県外に流失した沖縄固有の貴重な文化財である厨子甕を購入し、壺屋焼物博物館にて展示公開する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	18,518					
		(b) 予算現額	18,518					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	18,518	0				
	B. 執行済額		16,211					
	うち交付金充当額		12,968					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		87.5%					
予算の状況の説明		・不用額2,307千円は、主に厨子甕資料運搬に係る通信運搬費の入札残(1,257千円)、臨時職員任用期間短縮による賃金等の執行残(497千円)及び収納棚購入に係る施設備品費の入札残(486千円)によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・厨子甕の購入 ・収納棚の整備 ・厨子甕の公開及び展示会の実施 ・壺屋焼陶工の勉強会実施	目 標	(左記活動目標のとおり)	()	()	()		
		実 績	左記目標全て達成					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・厨子甕資料190基を購入した。 ・地下収蔵庫への厨子甕収納棚の設置及び収蔵・保管・管理に必要な備品類を購入した。 ・臨時職員2名を任用し、地下収蔵庫の整備、厨子甕の洗浄、収納及び厨子甕資料群リストの作成を行った。 ・厨子甕の内覧会(地域代表者、市会議員、マスコミ各社及び行政関係者)を実施した。(25名参加) ・壺屋陶器事業協同組合との連携により、壺屋焼陶工を対象に厨子甕についての勉強会を実施した。(30名参加) ・厨子資料群のお披露目展示会を開催し、一般に公開した。(3月8日～3月24日 観覧者766名)							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (H23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (H26年度)	
	・厨子甕の購入 ・収納棚の整備 ・厨子甕の公開及び展示会の実施 ・壺屋焼陶工の勉強会実施	目 標	(入場者数 17,131人)	(左記活動 目標のと おり)	()	()	(入場者数 19,900人)	
		実 績		左記目標全て達成				
	【参考指標】		目 標	()	()	()	()	
			実 績					
	進捗状況説明	・本県の貴重な文化財資料群の散逸を防ぐとともに市民・県民の財産として有効に活用することが可能になった。 ・地下収蔵庫の整備、厨子甕の洗浄、収納及びリスト作成により、資料が適切に管理できる状況となった。 ・厨子甕のお披露目公開及び展示会を実施した。 ・壺屋陶器事業協同組合との連携により、壺屋焼陶工の厨子甕についての勉強会を実施した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・特徴的な厨子甕資料のお披露目展示会開催後、一部を常設展示しているが、今後、全ての資料個々の調査・研究を進め、その成果の公表とともに大規模な展示会を開催し、広く公開する必要がある。 ・博物館の新たな目玉として入館者数の増加に繋げる。 ・資料の中には、購入当初から割れているものや、修復が必要なものもある。	・厨子甕資料群の調査・研究・解説書作成及び展示会開催のためには、相応の調査期間と人員が必要である。 ・資料の修復の必要性・修復方法の検討が必要である。 ・厨子文様のデザイン化や新商品開発等、資料の新たな活用の可能性を探る。
今後の取り組み方針		
・今年度、資料の調査・研究を行い、平成26年度厨子資料群の大規模な展示会開催に向けて、作業を進める。 ・資料修復や新たな活用方法について、専門家の意見を伺い、今後の方針を検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>16,211</td><td>16,211</td><td>12,968</td><td>3,243</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,211	16,211	12,968	3,243	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,211	16,211	12,968	3,243	0										
那覇市 16,211千円 事務費 1,491千円 役務費 2,730千円 備品購入費 11,990千円 ・臨時職員(2名)の賃金及び共済費 ・厨子甕購入に係る旅費 (株)沖縄急送 2,730千円 厨子甕資料運搬業務 東京在 個人所有者 10,000千円 厨子甕190基の購入 (株)安木屋 1,292千円 移動式ラック等の購入 (株)善林堂他2社 698千円 ・収納ラックの購入 ・ハンドリフターの購入 ・温湿度計の購入														
資金の流点、検評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○購入した資料は、本市において鑑定した評価額内の金額で購入しており、適正であると考え。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○受託業者は一般競争入札において決定し、企業組織規模、実績、知識等においても妥当であったと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-⑮	文化芸術発信拠点施設整備事業（市民会館）			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部署名	市民文化部 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の文化芸術発信拠点施設である市民会館の備品整備と充実を図り、機能強化を行う。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	41,139					
		(b) 予算現額	46,139					
		(c) 増減額 (b-a)	5,000					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	46,139	0				
	B. 執行済額		45,495					
	うち交付金充当額		36,395					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		98.6%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	市民会館の施設整備 ・ピアノ2台 ・非常用発電機1基	目 標	（ 左記目標達成 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	左記目標達成済					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	当初計画どおり、ハイグレードのピアノ2台と非常用発電機1台の購入整備を行った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	市民会館の施設整備 ・ピアノ2台 ・非常用発電機1基	目 標	（ ）	（ 左記目標達成 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		左記目標達成				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	備品購入日は平成24年度末であり、ピアノ・非常用発電機購入整備、活用による成果は、平成25年度以降となる見込みである。新規設備のPRに取り組み、活用促進によって、文化面からの振興発展に活かしたい。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	スタインウェイ・ペーゼンドルファの2台のグレードの高いピアノを導入したことにより、著名な演奏家や多くのピアノ愛好家などからの利用が期待でき、それに伴う県内、県外からの観客動員が見込まれる。非常用発電機の購入により暴風時対策の安心性が上がる。	備品購入時期が平成24年度末であるため、平成25年度以降に整備活用による文化振興発展面での効果が期待される。そのためにも、新規設備整備のPRに取り組む必要がある。
今後の取り組み方針		
平成25年度に文化芸術発信事業(市民会館)を実施し、新機材のお披露目のための公演等を開催し、PRに取り組む		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
45,494	45,494	36,395	9,099	

那覇市
45,494千円

備品購入費
45,494千円

(株)島ピアノセンター
20,568千円

文教楽器(株)
20,570千円

(株)国際ビル産業
4,358千円

(ステインウェイピアノ購入)

(ペーゼンドルファピアノ購入)

(非常用発電機購入)

資金の 用途の 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	2台のピアノは限定された機材のため、各々取り扱い専門業者との随意契約をおこなった。 非常用発電機は指名競争入札とした。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-⑯	新文化芸術発信拠点施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部署名	市民文化部 文化振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度～30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄振興に資する文化発信拠点を整備するため、本市の新しい文化芸術発信拠点施設建設に向けた基本構想の策定を行う。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,274					
		(b) 予算現額	8,289					
		(c) 増減額 (b-a)	15					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	8,289	0				
	B. 執行済額		7,908					
	うち交付金充当額		6,326					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		95.4%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	新しい文化発信拠点施設整備建設に向けた基本構想の策定を行う。	目 標	（ 基本構想策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	基本構想策定					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	新文化発信拠点施設整備建設に向けて平成24年度は基本構想策定作業に取り組んだ。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	新しい文化発信拠点施設整備建設に向けた基本構想の策定	目 標	（ ）	（ 基本構想策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		基本構想策定				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	新文化発信拠点施設整備建設に向けて、平成24年度は基本構想策定に取り組んだ。 平成25年度には基本計画に取り組む予定である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)市民アンケート・市民フォーラムの実施。 (イ)行政外の外部有識者による構想検討 (ウ)先進地視察による検討 いずれも本市の新たな文化芸術発信拠点施設としてふさわしいものを確定するために必要なものであり、今後も留意する必要がある。	市民アンケート、市民フォーラム等踏まえた市民ニーズの確認、また先進地の視察を経て、基本構想の策定に取り組んだ。 基本構想の策定によって、次年度の取組に向けた十分な基礎固めができたものとする。 次年度の基本計画策定等でも、市民ニーズの確認等のステップはしっかり踏まえて推進することが必要である。
今後の取り組み方針		
平成25年度は、今回取り組んだ新文化発信拠点施設基本構想(新市民会館基本構想)に基づいて、市民ニーズ等に留意しながら基本計画の策定に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,907</td><td>7,907</td><td>6,326</td><td>1,581</td><td></td></tr> </table> 那覇市 7,907千円 委託料 6,720千円 株式会社科学政策研究所 6,720千円 基本構想策定支援にかかる委託業務 共済・賃金 1,186千円 臨時職員賃金等 1,186千円 基本構想策定業務の補助業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,907	7,907	6,326	1,581	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,907	7,907	6,326	1,581											
資金の流 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託は、市に登録された建設コンサルタント業者の中から指名競争入札により行った。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-⑪ 崎山御嶽修復事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部課名	市民文化部 文化財課 (※平成24年度中/生涯学習部 文化財課)		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄振興に資するため伝統文化を伝統文化を継承するため、市指定文化財(史跡)「崎山御嶽」を整備し、観光資源としても活用できるようにする。							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,014					
		(b) 予算現額	1,014					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,014	0				
	B. 執行済額		992					
	うち交付金充当額		793					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		97.8%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・樹木伐採 13本 ・石積修復 1.25㎡ ・ブロック壁修復 6.39m	目 標	(修復工事)	()	()	()		
		実 績	修復工事完了					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	修復工事(伐採・石積修復・ブロック壁修復・運搬処分)は、工期限内に完了							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	・樹木伐採 13本 ・石積修復 1.25㎡ ・ブロック壁修復 6.39m	目 標	(修復工事)	(工事完了)	()	()	()	
		実 績		修復工事完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	修復工事(伐採・石積修復・ブロック壁修復・運搬処分)は、工期限内に完了						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地域の修復を求める要請に応えることができた。	指定文化財を地域の学習の場として、観光資源として広く紹介する必要があるので、今後の取り組みにおいても留意する必要がある。
今後の取り組み方針		
観光資源としての活用促進を図るため、歴史散歩の主要な見どころとして紹介するなどの検討を進める。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
992	992	793	199	0

```

graph LR
    A[那覇市  
992千円] --> B[工事請負費  
992千円]
    B --> C[株式会社平成造園  
992千円]
    C --- D["（修復工事）"]
  
```

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-⑩ 崎山樋川修復事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)		
担当部課名	市民文化部 文化財課 （※平成24年度中/生涯学習部 文化財課）		事業実施（予定）年度	平成24年度～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造 Ⅲ-3-(2)		
事業内容	沖縄振興に資するため伝統文化を伝統文化を継承するため、市指定文化財（史跡）「崎山樋川」を整備し、観光資源としても活用できるようにする。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,373					
		(b) 予算現額	2,373					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	2,373	0				
	B. 執行済額		2,299					
	うち交付金充当額		1,839,000					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		96.9%					
予算の状況の説明		不用額73,500円は、入札残によるもの。ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	「崎山樋川」整備に係る実施設計（測量・設計・地質調査）	目 標	（ 設計業務 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	設計業務完了					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	委託期間内に実施設計が完了した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	「崎山樋川」整備に係る実施設計（測量・設計・地質調査）	目 標	（ 0 ）	（ 設計業務 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		設計業務完了				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	委託期間内に実施設計が完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	測量・設計・地質調査を踏まえ、修復工法について協議した。	整備に向けた実施設計(測量・設計・地質調査)は完了したが、観光資源としての活用促進を図るため、対応を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
観光資源としての活用促進を図る必要があるので、歴史散歩の主要な見どころとして紹介するなどの検討を進めながら、平成25年度は、当該実施設計に基づき、修復事業に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
那覇市 2,299千円 委託料 2,299千円 (株)城南設計コンサルタント 2,299千円 測量業務 設計業務 地質調査業務				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,299	2,299	1,839	460	0
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
資金の流 点検 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○契約検査課に契約依頼し、地方自治法施行令第167条第1項第3号の規定に基づき、10業者の指名競争入札を実施しており、妥当と考えている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-②	児童クラブ賃借料補助金			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ	
担当部署名	こどもみらい部　こども政策課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	低所得県等の共働き世帯の多さに対応した子育て施策の拡充を行うため、児童クラブ舎の公的施設整備を進めながら、賃借料負担の無い公的施設で活動している児童クラブに比べて、賃借料等を負担し民間施設等で活動している児童クラブへの負担軽減のため、家賃等の補助を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,541				
		(b) 予算現額	11,541				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	11,541	0			
	B. 執行済額		11,117				
	うち交付金充当額		8,893				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		96.3%				
予算の状況の説明		計画どおり執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	民間施設等を賃借して活動している児童クラブに対し、家賃等の補助を行う	目 標	(17ヶ所)	()	()	()	
		実 績	17ヶ所				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	予定していた児童クラブ17ヶ所への賃借料補助を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	家賃料補助を行っている児童クラブ施設利用児童数	目 標	(0)	(811人)	()	()	()
		実 績		811人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	賃貸物件で活動している児童クラブに家賃補助を行うことによって、運営上の負担軽減につながる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○補助金支払額が、月額賃借料の4/5で上限が80,000円。各児童クラブの月額賃借料は12,500円から190,000円と幅がある(17児童クラブの平均月額: 96,880円)。 ○平成24年度の賃借料補助金は3月に交付だったため、年度内の運営が厳しい状況となる児童クラブもあった。	○補助金交付の時期、回数の見直し。
今後の取り組み方針		
○平成25年度は年4回(6月・9月・12月・3月)に分けた概算払い予定。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
15,256	11,117	8,893	2,224	4,139

那覇市
11,117千円

→

補助金
11,117千円

→

- ・高良児童クラブ
- ・末吉児童クラブ
- ・松川児童クラブ
- ・あすなる児童クラブ
- ・愛心児童クラブ
- ・城東児童クラブ
- ・たばる児童クラブ
- ・識名児童クラブ
- ・泊児童クラブ
- ・小禄南児童クラブ
- ・はなぞの児童クラブ
- ・こざくら児童クラブ
- ・にこにこ児童クラブ
- ・めかる児童クラブ
- ・第2城東児童クラブ
- ・泊キッズ児童クラブ
- ・みやび児童クラブ

以上、17ヶ所

(賃貸物件で活動している児童クラブに対する家賃補助)

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	各児童クラブは賃貸借契約書、領収書または口座引落明細書を提出
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-③		放課後児童クラブ支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2)－イ	
担当部課名	こどもみらい部　こども政策課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	低所得県故の共働き世帯の多さ等に対応した子育て施策の拡充を行うため、アンケート調査によるニーズ調査・研究を行い、今後の児童クラブの整備に活かすとともに、発足もない児童クラブの指導員にかかる人件費の補助を行い、補助対象児童クラブへのスムーズな移行を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（　　）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,374				
		(b) 予算現額	4,374				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	4,374	0			
	B. 執行済額		4,374				
	うち交付金充当額		3,499				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画どおりに執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	子育て施策の拡充に向けたニーズ調査・研究の実施	目 標	（ アンケート調査実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	アンケート調査実施				
	発足もない児童クラブの指導員にかかる人件費の補助	目 標	（ 3ヶ所 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	3ヶ所				
達成状況説明	・市内小学校の全児童を対象にアンケートを実施。「放課後の過ごし方」「保護者のニーズ」を的確に把握できるような質問事項を保護者に回答してもらい、回答内容が集計・分析された報告書が作成された。 ・予定どおり、補助対象へ移行前の児童クラブに対する指導員の人件費補助を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	指導員にかかる補助を行った対象児童クラブの児童数	目 標	（ ）	（ 169人 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		169人			
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	発足もないため、補助金対象外で苦しい運営のなか活動している児童クラブに指導員の人件費補助を行うことによって、運営上の負担削減につながる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○アンケート調査により作成された報告書では、児童クラブの利用状況・利用意向、児童クラブの満足度、児童クラブに望むこと等が盛り込まれた。	○地域ごと・小校区ごとの保護者ニーズの検証が必要。
今後の取り組み方針		
アンケート調査の結果に基づく児童クラブの課題検討し、今後の児童クラブの整備に活かす。(保育料軽減や開所時間の拡大検討)		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
4,374	4,374	3,499	875	0

那覇市
4,374千円

委託料
1,974千円

株式会社サーベイリサーチセンター
九州事務所
1,974千円

〔 放課後アンケート調査業務委託 〕

補助金
2,400千円

汀良児童クラブ
前島児童クラブ
あめく児童クラブ
以上3ヶ所

〔 補助対象へ移行前の児童クラブに
対する指導員の人件費補助 〕

資金の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	競争入札に付すも落札者がなく、最低額入札者と予定価格の範囲内にて随意契約する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	9-①	那覇市・福州市児童生徒交流祭シンポジウム事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－4－(1)－ア		
担当部署名	総務部 平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進			
					Ⅲ－7			
事業内容	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、当該事業の児童生徒OB・OGとの意見交換会や、人材育成を目的としたシンポジウムを開催する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額【単位:千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,969					
		(b) 予算現額	1,969					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	0					
		A. 計 (b+d)	1,969					
	B. 執行済額		1,447					
	うち交付金充当額		1,157					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		73.5%					
予算の状況の説明		使用料及び賃借料について、当初福州市外事弁公室職員を招聘予定であったが、社会情勢の変化により招聘できなかったため、当該費用にかかる宿泊施設の借り上げ料と視察にかかるバス賃借料が未執行となった。他執行残については実績による残。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	人材育成を目的としたシンポジウムの開催	目 標	人材育成を目的としたシンポジウムの開催	()	()	()	()	
		実 績	人材育成を目的としたシンポジウムの開催					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	これまでに那覇市・福州市児童生徒交流祭に参加した児童生徒及び県内識者ならびに関係者が会し当該事業についての意義や可能性を再認識することができ、事業の目的は達成された。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	シンポジウム参加者数:60人 那覇市・福州市友好都市交流ネットワーク登録者数:17人	目 標	(0)	シンポジウム参加者数:60人 那覇市・福州市友好都市交流ネットワーク登録者数:17人	()	()	()	
		実 績		同上				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	これまでに那覇市・福州市児童生徒交流祭に参加した児童生徒及び県内識者ならびに関係者が会し当該事業についての意義や可能性を再認識することができた。今後は毎年開催される交流事業の参加者を蓄積していくことにより、ネットワークを広げていく。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	那覇市と福州市、2国間の交流による事業であるため、国交による社会情勢にも配慮しつつ、培った交流の歴史やネットワークを維持し拡充していく。	ネットワークを活用し、情報交換できる環境を構築する。
今後の取り組み方針		
当該交流事業の過去参加者を今後の交流に参加させていく。 ネットワークを活用した情報交換できる環境を構築する。		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
総事業費 1,447千円 委託料 1,203千円 交際費 244千円 (株)沖縄コングレ 1,203千円 パシフィックホテル沖縄 244千円 ・シンポジウムの開催に係る業務委託料 ・交流会開催経費として	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	1,447	1,447	1,157	290	0

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託相手方は、公募型プロポーザル方式により、企業組織・実績・知識等を勘案した上で選定している。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から、最小の費用で最大の効果を上げるよう十分に留意した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-②	海外移住那覇市出身者研修受入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア	
担当部署名	総務部 平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進		
					Ⅲ-7		
事業内容	本市と歴史的、文化的に関連が深い国や地域と、沖縄の振興に資する交流関係を広げるため、南米各国の那覇市民会の2世・3世らを研修生として受け入れる。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,153				
		(b) 予算現額	1,153				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	1,153				
	B. 執行済額		1,052				
	うち交付金充当額		841				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		91.2%				
予算の状況の説明		特別旅費の執行残等があるが、概ね予定どおり執行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・研修生受入：年間2名	目 標	(2名)	()	()	()	
		実 績	2名				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	予定していた人数を招聘することができ、それぞれにルーツであるふるさと那覇市の文化研修を行うことができた。					
	成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度
南米からの研修受入人数：2人		目 標	(0)	(2名)	()	()	()
		実 績		2名			
【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
進捗状況説明		平成25年3月現在で、事業開始後23名の研修生を迎えたことになり、それぞれが現地県人会においても自らのアイデンティティーを再認識することにより、その他の次世代現地沖縄県人の方々への意識醸成へ寄与している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	毎年受入れる各研修生ごとへ、画一的ではないきめ細かな研修・体験を提供することにより、自らのアイデンティティーを再認識させるとともに、親戚や、多くの市民の方々との交流の場を提供することにより、ルーツであるふるさと那覇市への思いを再認識してもらい、帰国後も相互に気持ちを繋いでいけるよう支援する。	研修生ごとへのきめ細かな対応をするとともに、帰国後も様々な通信手段などを通して、こまめに連絡をとり、現地県人会との窓口として連絡を取り合う。
今後の取り組み方針		
同上		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費 1,052千円 特別旅費 310千円 交際費 37千円 消耗品 6千円 食糧費 223千円 通信運搬費 36千円 火災保険料 45千円 委託料 22千円 使用料及び賃借料 373千円 沖縄ソーリスト(株) 310千円 歓迎会費27千円 記念品代10千円 丸善株3千円、(資)高良楽器店3千円 研修生223千円 交通費・電話プリペイドカード代 36千円 東京海上日動火災保険(株) 45千円 学校法人ゴレスアカデミー 22千円 株ピース企画 373千円 ・ペルー渡航費 ・書籍・琉球楽器 ・生活費 ・研修生2名の傷害保険料 ・日本語学校 ・宿泊施設(マンスリーマンション)借上料				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
1,052	1,052	841	211	0
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
○		支出先の選定方法は妥当か。	○研修の目的達成のため適当と判断された施設を利用し支出をした。 ○研修内容の充実に必要十分な予算規模となっており、かつ費目・使途の必要性についても考慮されている。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
		受益者との負担関係は妥当であるか。		
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	未来に羽ばたく臨港型都市再開発事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(13)－ア	
担当部課名	総務部 平和交流・男女参画課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	早期の事業着手に向けた取組 Ⅲ－8	
事業内容	市内に残された米軍基地問題の解決のため、那覇軍港の跡地利用計画策定に向け取組む。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）	予算の 状況	(a) 当初予算額	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
		(b) 予算現額	5,000				
		(c) 増減額 (b-a)	5,000				
		(d) 前年度繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	—				
	B. 執行済額		4,725				
	うち交付金充当額		3,780				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		94.5%				
	予算の状況の説明		計画通りに執行した。				
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	平成18年度策定の「合意形成活動全体計画」の見直しを行う。	目 標	(合意形成活動全体計画見直しを行う)	()	()	()	
		実 績	合意形成活動全体計画見直しを行った				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成18年度に策定した「合意形成活動全体計画」について、社会動向の整理、全体計画の検証、地権者アンケートなどを踏まえ、地主会との調整を行い、合意形成活動全体計画の見直しを行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	合意形成活動全体計画見直し案の策定	目 標	(—)	(合意形成活動全体計画見直し案の策定)	()	()	()
		実 績		合意形成活動全体計画見直し案の策定			
	【参考指標】		目 標	()	()	()	()
			実 績				
	進捗状況説明	合意形成活動全体計画見直し案を策定した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	●社会動向の変化 ①跡地利用特措法の施行、②嘉手納飛行場以南の土地の返還、③跡地利用が進む返還跡地、④中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想の策定、⑤中南部地試験の軍用地跡地利用に向けた動き ●全体計画の検証や地権者アンケートから、①全体計画の更なる周知、②土地活用に組めた勉強、③情報発信の継続、が必要なことが分かった。	●跡地利用計画の計画づくりに取り組める環境を整えることに重点を置き、「意識醸成」と「組織づくり」に取り組む。
今後の取り組み方針		
●全体計画の更なる周知 ●跡地利用計画づくりに向けた意識醸成 ●若い世代の組織の設置 ●土地活用に関する知識の習得 ●国有地を道路や公園・緑地等の公共用地に充当することの検討		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,725</td><td>4,725</td><td>3,780</td><td>945</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,725	4,725	3,780	945	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,725	4,725	3,780	945	0										
<pre> graph LR A[那覇市 4,725千円] --> B[委託料 4,725千円] B --> C[昭和株式会社 那覇営業所 4,725千円] C --- D[那覇軍港地権者等合意形成活動 全体計画見直し検討調査 にかかる業務委託] </pre>														
資金使途の点検評価・	評価	点検項目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者は指名競争入札により選定											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11－① 離島連携事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(12)－オ		
担当部署名	経済観光部 商工農水課	事業実施 (予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	交流と貢献による離島の新たな振興		
事業内容	県都・那覇の持つ集客力等を活かして離島の振興発展を支援するため、泊港発着の渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜の4つの離島と連携事業を行い、4村との交流強化に取り組む。						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	44,897				
		(b) 予算現額	44,897				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	44,897	0			
	B. 執行済額		23,597				
	うち交付金充当額		18,877				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		53.1%				
予算の状況の説明		・台風等の天候による船便の欠航が相次いだため、助成券の利用率が65.2%にとどまり、執行率が伸びなかった。 ・離島連携事業受付管理システムについて、年度更新機能やバグ修正等のシステム再構築を行うため、補助金から1,500千円を流用し、指名競争入札を実施した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	那覇市民を対象に交通費と宿泊費の一部を助成	目 標	(交通費・宿泊費の助成)	()	()	()	
		実 績	交通費・宿泊費の助成				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	・交付決定者数は、渡嘉敷村1,392人、座間味村1,270人、粟国村1,057人、渡名喜村843人、計4,562人であった。 ・助成券使用者数は、渡嘉敷村860人、座間味村823人、粟国村695人、渡名喜村595人、計2,973人であった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (27年度)
	離島4村(渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村)への渡航費及び宿泊費を助成した市民数	目 標	(5,000人)	(5,000人)	()	()	(5,000人)
		実 績		2,973人			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・交付決定者数は、渡嘉敷村1,392人、座間味村1,270人、粟国村1,057人、渡名喜村843人、計4,562人であった。 ・助成券使用者数は、渡嘉敷村860人、座間味村823人、粟国村695人、渡名喜村595人、計2,973人であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・離島航路は、台風等の天候不良による欠航が多く、助成券を利用できなかった市民が多いため、執行率の低さにつながっている。 ・平成24年度は、前期・後期と募集時期を分けて募集していたが、前期に4,800人余りの応募があったにもかかわらず、後期は1,700人ほどと、募集時期により大きな差がでた。離島では冬場は夏の時期に比べ、入域数が減少する傾向にあり、それが反映される形となった。 ・平成24年度に、久米島町より離島連携事業の対象町村に加えてほしいという要請があった。	・平成24年度前期で助成券を利用できなかった方に対し、平成24年度後期でも使用できるように期間延長を行ったが、通年で利用できるように助成対象期間をあらためる必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成25年度は、対象町村に久米島町を追加する。 ・前期、後期と募集時期を分けず、申込期間を5月10日～5月24日とする。また、通年で利用できるよう、助成対象期間を長期間とする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費		交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
34,003		23,597	18,877	4,720
				交付対象外経費
				10,406
那覇市 23,597千円 補助金 17,494千円 航路管理者 10,062千円 船舶等旅客運賃助成 市民自己負担分(交付対象外経費)0千円 宿泊先 7,432千円 宿泊費助成 市民自己負担分(交付対象外経費)10,406千円 委託料 1,491千円 創和ビジネス・マシ ンズ株式会社 1,491千円 離島連携事業受付管理シ ステム再構築事業 非常勤報酬 3,052千円 非常勤職員2人 3,052千円 離島連携事業事務補助 事務費 1,560千円 共済費、需用費、役務費				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は企業組織、類似システムの納入実績等を勘案した上で5社選定し、指名競争入札を実施しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	11-③ 離島体験学習支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-オ			
	学校教育課				交流と貢献による離島の新たな振興			
担当部署名	学校教育課		事業実施 (予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-9		
事業内容	県都・那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして県内離島の振興発展を支援するため、市内小中学生及び引率者を対象に、県内離島体験学習を行う際の交通費と宿泊費に対する助成を行う。 ・対象／那覇市立小中学校児童生徒とその引率者 ・場所／近隣離島(久米島町・座間味村・渡嘉敷村・粟国村・渡名喜村・南北大東村)で部活動の合宿やリーダー研修等を実施する場合 ・補助／海上交通費の全額・航空賃の半額・宿泊費(1泊5,000円を上限として2泊まで)							
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,850					
		(b) 予算現額	9,458					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 392					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	9,458	0				
	B. 執行済額		1,938					
	うち交付金充当額		1,550					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		20.5%					
予算の状況の説明		・不用額が7,520千円発生しているのは、事業開始初年度であり、執行額の予測が困難であったこと、小中学校に対する事業の周知に時間がかかったこと、台風や強風の影響で船が欠航し、計画はあったが実施に至らないケースが複数あったこと、等による。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	離島等派遣延べ人数	目 標	(140人)	()	()	()		
		実 績	140人					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	市内6小中学校から申請のあった、計140人分の派遣費に対する補助を行った。 渡嘉敷村における中学生交流研修、久米島におけるく運動部の合宿が主な内容である。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)	
	離島等派遣延べ人数	目 標	(0人)	(140人)	()	()	(200)	
		実 績		140人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	市内6小中学校から申請のあった、計140人分の派遣費に対する補助を行った。 渡嘉敷村における中学生交流研修、久米島におけるく運動部の合宿が主な内容である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・離島県である沖縄で、県都・中核市としての那覇の持つ集客力、情報発信力等を活かして、那覇市観光の幅と魅力を高めるため、県内近隣離島の振興発展を図る必要がある。 ・文科省の全国学力・学習状況調査や県学力到達度調査の結果から、沖縄県における「確かな学力」の向上と「基本的な生活習慣の形成」について課題があることが明らかになっている。また、亜熱帯性の島嶼県である沖縄で、その自然特性を生かした「生きる力」を育む教育が求められている。 ・離島への渡航に対する補助であるため、台風や強風による船の欠航、交通手段の変更も予想される。	・H24年度は事業開始初年度であり、交付金内諾後、補助金要綱作成を経ての小中学校へ通知したため、小中学校への周知に時間がかかることとなった。 ・H25年度以降は早期より事業の周知をはかりたい。 ・台風・強風等に伴い宿泊・交通手段の変更を迫られた場合は、変更後の交通費・宿泊費については全額補助対象とする(要綱改正)。
今後の取り組み方針		
・離島派遣費用の負担軽減により、機会を増やし、次代を担う児童生徒の人材育成、教育の振興と離島の振興を図る。 ・早い時期からの学校への通知、校長会・教頭会等における伝達を行い、事業の周知をはかる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,938</td><td>1,938</td><td>1,550</td><td>388</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,938	1,938	1,550	388	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,938	1,938	1,550	388	0										
那覇市 1,938千円 補助金 1, 913千円 児童生徒・引率者・教職員 1, 913千円 〔 離島体験学習に係る旅費・宿泊費の補助 〕 事務費 25千円 〔 需用費 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先、費目・使途等については、補助金交付要綱に基づく申請・実績報告により支出しており、妥当なものと考えている。 ・予算規模については、事業開始初年度であり、執行額の予測が困難であったこと、小中学校に対する事業の周知に時間がかかったこと、等により、過大であったと思われる。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-① 環境フェアの開催事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(1)-オ			
担当部署名	環境部 環境政策課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県民参画と環境教育の推進 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	沖縄の豊かな自然環境保全や環境負荷の低減、資源循環型社会実現等による環境共生都市の実現を目指すため、環境全分野にまたがる市民意識啓発事業として平成25年1月27日(日)に、沖縄セルラーパーク那覇を会場として「平成24度那覇市環境フェア」を開催した。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,381					
		(b) 予算現額	6,381					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	6,381	0				
	B. 執行済額		6,381					
	うち交付金充当額		5,104					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通りに執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	環境フェアの開催	目 標	（ 環境フェア開催 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	H25.1.17 環境フェア開催					
	各種出展ブース数	目 標	（ 50ブース ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	55ブース					
達成状況説明	ホームページ及び市広報誌等で幅広く告知をし、目標を上回る各種出展ブース数が参加し、充実した総合的な環境啓発事業となった。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	環境フェアへの来場者数：7000人	目 標	（ 約5000人 ）	（ 7000人 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		約8200人				
	各種出展ブース数	目 標	（ 38ブース ）	（ 50ブース ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		55ブース				
	進捗状況説明	基準年度及びH24成果指標を上回る来場者数及び各種出展ブース数を達成し、総合的な環境啓発事業である環境フェアを開催することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・民間企業や業界団体主催の各種環境関連分野の展示会も増えており民間(企業・NPO・業界)で独自に取り組む社会環境が整ってきている。	・活動指標及び成果目標を達成し、事業実施に関する課題は特段無し ・本事業のような啓発活動においては、集客対策と周知・広報活動が重要となることから、同様の事業を実施する場合は、この点について留意する必要がある。
今後の取り組み方針		
・上記の「推進上の留意点」に記載のとおり、外部環境の変化があることから 民間(企業・NPO・業界)で独自に取り組む社会環境が整ってきている。行政主導の環境啓発事業から、民間主導の環境啓発事業へシフトする時期となっており、本事業は平成24年度で終了とする。 ・市民・事業者の環境に関する意識の高まりにより、各種専門分野の環境啓発事業のニーズが大きくなっている。総合的な環境啓発事業は平成24年度で終了し、今後は、各種専門分野の環境啓発事業を推進し、環境の保全・創造を図っていく。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,381	6,381	5,104	1,277	

那覇市

6,381千円

委託料

6,381千円

株式会社沖縄コングレ

6,381千円

平成24年度那覇市環境フェア
の開催事業に係わる委託業務

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-② リュース食器活用促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(2)-ア			
担当部署名	環境部 廃棄物対策課		事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進		
Ⅲ-10-(1)								
事業内容	資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リュース食器、食器洗浄機等を整備する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,712					
		(b) 予算現額	1,712					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	1,712	0				
	B. 執行済額		1,216					
	うち交付金充当額		972					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		71.0%					
予算の状況の説明		食器洗浄機システムの入札による落札価格と見積価格との差（1,155,000円-735,000円＝620,000円 63.6％）により、執行率71%となった。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・食器洗浄機設置数：1台 ・食器移動台購入：1台 ・食器類購入：3,000個	目 標	（ 機器の購入 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	機器の導入					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
	達成状況説明	平成24年度においては、リュース食器の活用を推進する為、食器洗浄機等の機器の導入を進めた。						
	成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
・食器洗浄機設置数：1台 ・食器移動台購入：1台 ・食器類購入：3,000個		目 標	（ ）	（ 機器導入 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		導入済み				
【参考指標】		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
進捗状況説明		平成24年度にて、食器洗浄機設置数：1台、食器移動台購入：1台、食器類購入：3,000個の購入・設置を行った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。	リユース可能な食器の拡大及び食器洗浄機器の導入により、さらなるごみ減量及び環境教育の推進に努める。
今後の取り組み方針		
イベント等におけるごみ量減量化を図るため、リユース食器及び、食器洗浄機の導入を行った。 ごみ減量対策として、当市ではごみ減量4R対策を行っている。大量消費型社会の結果としてごみ量は増加傾向にあり、その対策として、ごみ減量化教育・環境教育が必要である。その一環で、リユースへの意識の定着を図り、拡大につなげることに努めたい。		

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,216	1,216	972	244	0

資源循環型社会実現のため、ごみ減量及び環境教育の一環として、市民等に貸し出すイベント用リユース食器、食器洗浄機等を整備する。

```

graph LR
    A[那覇市  
1,216千円] --> B[備品購入  
1,216千円]
    B --> C[有限会社 真総業 那覇営業所  
735千円]
    B --> D[ニッコー(株)那覇営業所  
34千円]
    B --> E[(有)スリーエイト  
447千円]
    C --- F([洗浄機システム購入])
    D --- G([食器移動台購入])
    E --- H([リユース食器購入])
  
```

リユース食器の活用促進については、エコマール那覇プラザ棟の啓発事業推進業務委託の範囲として、事業委託している。事業に係る経費として、リユース食器利用に係る実費費用として、100個単位で100円を徴収することとしている。

資金の 流れ・ 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	食器洗浄機については、指名競争入札により業者選定 食器移動台・リユース食器については3社以上の見積合わせ にて業者選定しており、妥当だった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-③ モノレール沿線ペランダ緑化促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(6)-イ			
					花と緑あふれる県土の形成			
担当部課名	環境部 環境政策課	事業実施(予定)年度	平成24～25年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)		
事業内容	花と緑で潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創成実現やヒートアイランド現象の緩和、二酸化炭素の排出抑制など地球温暖化対策を目的に植栽プランターにより、建築物緑化の推進を図る。 事業の推進においては、波及効果が高い、モノレール沿線を事業重点地区と位置付け、全区間において植栽プランター等を無料配付し、ペランダ等(屋上・壁面含む)に集中的に設置することで「まとまった・見える建築物緑化」を構築するものとする。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	65,184					
		(b)予算現額	65,184					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A. 計(b+d)	65,184	0				
	B. 執行済額		63,776					
	うち交付金充当額		51,020					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		97.8%					
予算の状況の説明		本事業は、モノレール沿線を重点地区と位置づけ、植栽プランターを無償で配布する事業であり、重点地区における植栽プランターの進捗状況によっては、対象地域を市内全域に拡大し、事業の展開を予定していたが、重点地区にて、植栽プランターの受注が得られたことにより、市内全域用として計上した周知・活動広報費(印刷物、新聞・市民の友折り込み費用等)の必要性がなくなり、1,408,636円の不用が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	植栽プランターの配布鉢数	目 標	(3,000鉢)	()	()	()		
		実 績	2,684鉢					
	植栽プランター設置件数	目 標	(600件)	()	()	()		
		実 績	471件					
達成状況説明	本事業においては、価格の異なる植栽プランターを3種類設定し、受託者が建築物の状況に応じた緑化を提案し、希望する植栽プランターを配布していたが、価格設定が高い樹種の設置要望が多かった為、予算額に応じた配布個数となった。 また、本事業の趣旨である「まとまった・見える建築物緑化」の構築を図る為、建築物緑化の重点施設を設定し、効果的な緑化を図る為、基本配布鉢数(5鉢)を超えた配布を行ったことでの設置件数実績。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(18年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	モノレール沿線の建築物緑化面積2,000㎡の増加	目 標	(0㎡)	(2,000㎡)	()	()	()	
		実 績		2,415.6㎡				
	【参考指標】 第4次那覇市総合計画(3-3-2) 人・自然・地球にやさしい環境共生都市 (施設の緑化を促進する)	目 標	(6000㎡)	(16,000㎡)	()	()	()	
		実 績		11,702.73㎡				
	進捗状況説明	第4次那覇市総合計画において、助成による屋上・壁面の建築物緑化面積を年間2,000㎡の増加目標が設定されている。本事業において、植栽プランター2,684鉢を配布したことにより、緑化面積2,415.6㎡の増加 * 緑化面積(2,415.6㎡):2,684鉢×0.9鉢/㎡(0.6m×1.5m)						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1本事業の重点地区であるモノレール沿線においては、区間によっては建築物の形態(低層住宅から中・高層住宅)が違う為、植物の生育環境が異なってくる。 2植栽プランターの設置に対して、容易に理解が得られない。	1亜熱帯気候をイメージさせる植物の中から、比較的維持管理が容易な樹種を選定した上で、事業協力への案内を行う。 2植栽プランター設置後の建築物イメージ図やモデル施設を設け、建築物緑化のイメージが得られやすい対応を図る。
今後の取り組み方針		
平成24年度で植栽プランターの配布・設置は終了する。設置後は設置者の管理の下で、植栽プランターの維持管理を行う為、平成25年度は緑化講習会や個別訪問による緑化アドバイスを実施し、植栽プランターを良好な状態に保ち、「まとまった・見える建築物緑化」を継続させるための支援業務を実施する。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
63,776	63,776	51,020	12,756	0

那覇市
63,776千円

モノレール沿線
ベランダ緑化
促進事業

→

委託料
24,140千円

→

金秀グリーン株式会社(24,140千円)

(モノレール沿線ベランダ緑化促進
事業 A地区の業務委託料)

委託料
19,818千円

→

有限会社 グリーンアルファ(19,818千円)

(モノレール沿線ベランダ緑化促進
事業 B地区の業務委託料)

委託料
19,818千円

→

株式会社 桃原農園(19,818千円)

(モノレール沿線ベランダ緑化促進
事業 C地区の業務委託料)

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-⑤ 資源化車輛購入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－1－(2)－ア			
担当部課名	環境部 クリーン推進課	事業実施(予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進			
					Ⅲ－10－(1)			
事業内容	環境負荷の低減による環境共生都市の実現のため、負荷低減のPRとなる電動式フォークリフトを導入する。 ごみ減量、リサイクルの重要性などの環境問題の啓発活動の一環として実施する。 バッテリー式フォークリフト2台の購入。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,437					
		(b) 予算現額	6,437					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	6,437	0				
	B. 執行済額		6,437					
	うち交付金充当額		5,149					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		計画通り執行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	バッテリー式フォークリフトを導入	目 標	（ フォークリフト導入 ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	フォークリフト導入					
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績						
達成状況説明	平成24年12月14日納車							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	環境負荷低減型のごみ収集車等の導入率	目 標	（ ）	（ 61.4% ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		61.4%				
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績						
	進捗状況説明	平成24年12月14日納車						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	那覇・南風原クリーンセンターの見学者にバッテリーフォークリフトを紹介し、環境負荷軽減等の啓発活動を行った。	化石燃料の使用を削減できるバッテリー式であることをよりわかりやすくPRするため、バッテリーフォークリフトの車体に「バッテリーフォークリフト」などの文字を入れ、見学者だけでなくとどまらず、自己搬入する一般市民や搬出搬入する業者にも環境負荷軽減等の啓発を行う。
今後の取り組み方針		
バッテリーフォークリフトを活用し、環境負荷軽減を訴えていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
6,437	6,437	5,149	1,288	0

那覇市
6, 437千円

物品購入
6, 437千円

沖縄産機株式会社
6, 437千円

物品購入に係る制限付一般競争入札

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○制限付一般競争入札を実施したため、妥当であると考え る。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な ものなのか等について額の確定時において支出等に関する 書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	12-⑥ 観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(3)-ウ	
	担当部課名 環境部 環境政策課		事業実施(予定)年度 平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所		低炭素都市づくりの推進
						Ⅲ-10-(1)
事業内容 本県の亜熱帯・島嶼地域の豊かで独自の自然環境という観光リゾート地としての優位性をさらに強化するため、今後必要となる観光に資する環境保全・創造事業を網羅した環境基本計画を策定する。策定する計画の内容は、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に沿って、本市が今後取り組む環境施策を盛り込むこととなっている。本事業は2年間の継続事業であり、平成24年度は下記の事業を実施した。 ・平成24年度 基礎調査、現状分析、基本方針等の策定 ・平成25年度 上記の平成24年度の取り組みを踏まえ環境基本計画(案)策定						
実施方法 ☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)						
予算の状況		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(a) 当初予算額		3,280				
(b) 予算現額		3,280				
(c) 増減額 (b-a)		0				
(d) 前年度繰越額		—				
A. 計 (b+d)		3,280	0			
B. 執行済額		3,280				
うち交付金充当額		2,624				
次年度繰越額		0				
執行率（％）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通り執行した。				
活動目標(指標)及び達成状況						
H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定		目標	・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定 ()	()	()	()
		実績	・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定			
		目標	()	()	()	()
		実績				
達成状況説明		平成24年度の市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針等を盛り込んだ暫定版を策定した。				
成果目標(指標)及び進捗状況						
H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
・市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針の策定		目標	()	()	()	()
		実績				
【参考指標】		目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明		平成24年度の市域環境の基礎調査及び現状分析、新たな環境基本計画の基本方針等を盛り込んだ暫定版を策定した。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・沖縄県においては、第二次の沖縄県環境基本計画が平成25年度より施行されている。県の環境基本計画との整合性を踏まえ亜熱帯・島嶼地域の都市型の環境基本計画を策定する必要がある。	・平成24年度の実績を踏まえ、平成25年度は、各種環境施策を盛り込んだ新たな環境基本計画(案)を策定する。
今後の取り組み方針		
・平成24年度の実績を踏まえ、平成25年度は、各種環境施策を盛り込んだ新たな環境基本計画(案)を策定する。平成26年度以降は、計画に盛り込まれた各種環境施策について、毎年適切に進捗管理を実施することにより、亜熱帯・島嶼地域の環境保全及び創造を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		3,280	3,280	2,624	656	0

那覇市
3,280千円

委託料
3,280千円

株式会社プレック研究所沖縄事務所
3,280千円

平成24年度那覇市環境基本計画策定事業(観光振興に資する亜熱帯・島嶼地域型環境保全・創造事業)に係わる業務

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-⑦ 市内井戸・湧水等調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(2)-ア			
担当部署名	環境部 環境保全課		事業実施（予定）年度	平成24～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進		
						Ⅲ-10-(1)		
事業内容	平成16年度の市内全域の井戸・湧水・井泉の分布状況資料を基にあらためて位置、現存の有無等について現況調査を実施する。現状を把握することにより、今後の災害時等における水利用環境整備、及び、水資源有効利用による潤いのあるまち創り推進の基礎資料とする。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	15,519					
		(b) 予算現額	15,519					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	15,519	0				
	B. 執行済額		13,968					
	うち交付金充当額		11,173					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		90.0%					
予算の状況の説明		不用額が1,551千円発生しているが、委託費の入れ差額によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、成果目標からも適正であったと思われる。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	井戸・湧水・井泉に対する調査件数	目標	(3,716件)	()	()	()		
		実績	3,762件					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	平成16年度調査時に確認された地点を基本とし、再度調査を実施した。 新たに46件も対象に追加調査を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（16年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）	
	井戸・湧水・井泉に対する調査件数	目標	(3,716件)	(3,716件)	()	()	()	
		実績		3,762件				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	平成16年度調査時に確認された地点を基本とし、再度調査を実施した。 新たに46件も対象に追加調査を実施した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(ア)市民の財産である井戸・湧水等調査における個人情報保護の徹底 (イ)外部環境として、東日本大震災後災害に対する市民の意識が高まってきている。	今後同様な調査を実施していく際についても個人情報の徹底を義務づけていく
今後の取り組み方針		
今回の事業で調査した湧水の中の主な地点について水質を再調査し、水質の現況を把握し今後の水資源の有効利用、豊かな都市環境保全に向けた基礎資料として役立てていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
13,968	13,968	11,173	2,795	0

那覇市
13,968千円

委託料
13,968千円

沖縄県環境科学
センター
13,968千円

平成24年度市内井戸・湧水等
調査事業の業務委託

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により適正に選定及び執行されたと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	12-⑧ 水資源有効利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章－1－(2)－ア			
担当部署名	環境部 環境保全課		事業実施(予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進		
Ⅲ－10－(1)								
事業内容	沖縄の豊かな自然環境保全のため、水資源の有効利用及び地下水の涵養に資する雨水貯留・浸透施設の設置に対して補助を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,040					
		(b) 予算現額	1,040					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	－					
		A. 計 (b+d)	1,040	0				
	B. 執行済額		366					
	うち交付金充当額		292					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		35.2%					
予算の状況の説明		・H24.7.31付内諾のため、それより前に受け付けた4件については、執行済額に含めていない。 ・執行率が約35%に留まった理由として、上半期における広報が十分でなかったことや、年度により申請状況に波があることを考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	雨水施設等設置費補助件数	目 標	(30件)	()	()	()		
		実 績	10件					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	・那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に基づき、以下のことを行う。①補助金の交付が適当と認められた申請者に対して交付決定を通知する、②当該工事が完了したら、提出された実績報告書等に基づき現場確認を行い、申請者に対して交付確定を通知する、③申請者より提出された補助金交付請求書に基づき補助金を交付する。 ・住宅に雨水貯留又は井戸水利用施設を設置する市民に対し、その費用の一部を補助することで水資源の有効利用を図ることに貢献した。 ・活動目標を下回った要因として以下の2点が考えられる。①補助制度開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に波がある、②上半期における広報が十分ではなかった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	雨水施設等設置費補助件数	目 標	()	(30件)	()	()	()	
		実 績		10件				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	・住宅に雨水貯留又は井戸水利用施設を設置する市民に対し、その費用の一部を補助することで水資源の有効利用を図ることに貢献した。 ・H25～H27年度まで当事業の継続は確定しており、事業費として各年度120万円(30件分)が計上されている。 ・成果目標を下回った要因として以下の2点が考えられる。①補助制度開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に波がある、②上半期における広報が十分ではなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・補助制度開始した平成14年度以降の実績を見ると、最小12件、最大27件、平均18件／年であり、その年により申請状況に波があるため、申請件数の予測が困難な面がある。 ・市民への周知・広報が十分ではない。	・広報にさらに力を入れる。
今後の取り組み方針		
●周知・広報の強化 ・那覇市広報(市民の友)で周知する。(4月、6月の2回) ・チラシを配布する。(自治会長会、各支所、公民館等) ・市ホームページで周知する。 ・その他関係機関等を通して周知・広報を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>366</td><td>366</td><td>292</td><td>74</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	366	366	292	74	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
366	366	292	74	0										
那覇市 365千円 → 補助金 365千円 → 個人住宅 最大40千円 (10件) 雨水施設又は井戸水を利用するための施設の設置又は修繕に係る経費の一部補助。														
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
使途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。	・那覇市雨水施設等設置費補助金交付要綱に沿って交付対象者を決定しており、妥当であると考え。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・今年度申請件数の様子を見て、次年度予算規模の変更を検討したい。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担の約3分の1を補助しており、妥当であると考え。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・補助金額確定時において支出等に関する書類を確認し、適正であった。											

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-②	多言語避難所標識設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ	
担当部署名	総務部・総務課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
					Ⅲ-10-(2)		
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、避難所案内の多言語標識を市内の観光地を中心に設置する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,000				
		(b) 予算現額	12,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	12,000				
	B. 執行済額		3,896				
	うち交付金充当額		3,116				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		32.5%				
予算の状況の説明		執行残は落札残による。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・多言語標識設置22ヶ所	目 標	(22ヶ所)	()	()	()	
		実 績	22ヶ所				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	観光客が訪れる機会の多い、若狭周辺に8ヶ所、国際通り・壺屋周辺に11ヶ所、新都心周辺に3ヶ所の計22箇所に最寄りの避難所への避難標識を設置した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	多言語の避難標識設置箇所数：22ヶ所	目 標	(0)	(22ヶ所)	()	()	()
		実 績		22ヶ所			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	観光地に多言語で標識を設置したことで、地理的に不案内な観光客や外国人の迅速な避難に寄与するものとする。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初計画していた事業内容はすべて実施しており、災害時には迅速な避難に役立つことが期待され、課題は無いと考える。	
今後の取り組み方針		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
那覇市 3,896千円 委託料 3,896千円 株式会社栄建 3,896千円 多言語避難所標識設置にかかる業務委託				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,896	3,896	3,116	780	0
資金の流れ、費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札による落札業者としており、妥当であったと考えている。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	13-③	海拔表示看板設置事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部・総務課	事業実施 (予定)年度	H24	沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波発生時に備えた海拔表示看板を市内各地に設置する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	840					
		(b) 予算現額	840					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	840					
	B. 執行済額		620					
	うち交付金充当額		495					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		73.8%					
予算の状況の説明		執行残は落札残による。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	海拔表示板設置 計162箇所約200枚	目 標	(162箇所 約200枚)	()	()	()		
		実 績	162箇所 200枚					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	市内162箇所に200枚の海拔表示看板を設置した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	海拔表示板設置箇所数:162箇所	目 標	(0)	(162箇所)	()	()	()	
		実 績		162箇所				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	住民の避難意識を高めるとともに、地理的に不案内な観光客等の避難の目安にもなり、災害発生時の避難体制の強化に寄与するもの と考える。						

市町村名	那覇市										
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	13－④ 救命講座普及啓発推進事業					沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ				
							観光客の受入体制の整備				
担当部署名	消防本部 救急課			事業実施 (予定)年度	平成24～平成33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－10－(2)			
事業内容	自然災害並びに米軍基地が集中するが故に想定される人為的災害等に強い安心安全なまちづくりを推進する為、応急手当講習を開催するなどして、市民の救命能力の向上と普及啓発に取り組む。										
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）										
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,386								
		(b) 予算現額	5,386								
		(c) 増減額 (b-a)	0								
		(d) 前年度繰越額	－								
		A. 計 (b+d)	5,386	0							
	B. 執行済額		5,167								
	うち交付金充当額		4,133								
	次年度繰越額		0								
	執行率（％）(B/A)		95.9%								
予算の状況の説明		計画通りに執行した。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況							
				24年度	25年度	26年度	27年度				
	・臨時職員4人を採用し、定期救命講習、出前救命講習を実施する。 ・応急手当重要性及び救命講習に関するPR活動を実施			目 標	(応急手当普及 (啓発活動の推 進に関する実施	()	()	()			
				実 績	上記要綱に基づき実施						
				目 標	()	()	()	()			
				実 績							
	達成 状況 説明	普通救命講習Ⅰ・Ⅲ、上級救命講習、救急入門コース、応急手当普及員講習などの全ての講習に対応している。従来15名以上が条件であった出前講座を5名以上に変更し対応、そのため、主であった定期講習から出前講座の依頼も増加し、徐々に救命講習の必要性が浸透しつつある。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)			
	応急手当受講者数:5000人			目 標	(0人)	(5,000人)	()	()	()		
				実 績		6,290人					
	【参考指標】 平成23年度 応急手当受講者数4463人（独自調査）			目 標	()	()	()	()	()		
				実 績							
	進 捗 状 況 説 明	8月からの事業実施により、平成24年度において、受講者数の目標値を大きく上回った。AEDの普及に伴い市民の意識が高まり、25年度もさらなる受講者が見込まれる。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・出前講座を従来15名以上の条件から、5名以上に条件変更することにより、より多くの市民のニーズに対応することが可能となった。 ・夜間及び土、日における開催 ・非常勤勤務体系の問題 ・受講者数の増加	・出前講座の条件人数の検討 ・夜間及び土、日における開催の検討 ・定期講習・出前講座の開催数検討
今後の取り組み方針		
・出前講座の条件は、現状どおりで25年度も実施する。 ・夜間及び土日の実施については、さらなる検討が必要とし25年度については、当面、平日の日中で対応する。 ・市内小中学校への救命入門コースのアプローチ ・応急手当普及員講習の案内強化		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,167	5,167	4,133	1,034	
<pre> graph LR A["那覇市 5,167千円 4,133 (充当額) 1,034 (市町村負担)"] B["共済費 615千円"] C["賃 金 4,377千円"] D["需用費 175千円"] E["雇用保険料 38千円"] F["社会保険料 577千円"] G["臨時職員 4名分"] H["消耗品 67千円"] I["印刷製本費 108千円"] A --> B A --> C A --> D B --> E B --> F C --> G D --> H D --> I </pre>				

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・全ての費目・使途は必要なものに限定 ・需用費に関しては、消耗品(臨時職員被服代)、救命講習に伴う修了証カード(業者限定)を見積もり合わせて購入する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	13-⑤ 中学校区防災安心安全マップ作成事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)		
担当部課名	市民文化部 市民生活安全課		事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティーネットの確立 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、津波などの大規模災害への対応と、地域の危険箇所を確認できるよう、中学校区ごとに防災安心安全マップを作成して配布する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額						
		(b) 予算現額	9,372					
		(c) 増減額 (b-a)	9,372					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	9,372					
	B. 執行済額		9,114					
	うち交付金充当額		7,290					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		97.2%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	・防災安心安全マップの配布数:17,000枚(配布先)市内17校の中学校、160自治会、市立図書館その他 ・マップのシームレスPDFデータをHPで発信	目 標	(17,000枚作成・配布)	()	()	()		
		実 績	17,000枚作成・配布					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	生活地図株式会社と委託し、中学校区防災安心安全マップを作成。那覇市安全で住みよいまちづくり推進協議会事務局で市内17校の中学校を回り、中学校関係者(安全主任・生徒指導教諭、青少年指導員、少年補導員等)とともに計2回ずつの制作会議を実施。1回目は避難場所及び危険箇所を聞き取りのうえ白地図に書き込み、2回目に校正を行った。市内全17中学校へA0サイズの大きなパネルを寄贈、A2サイズのマップを全中学生、市内37校の小学校、保育所・幼稚園、児童館、市立図書館等へ配布した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	防災安心安全マップの配布数:17,000枚	目 標	(-)	(17,000枚)	()	()	()	
		実 績		17,000枚				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	市内17中学校区ごとに震災や津波被害への迅速な避難ルートだけでなく、子どもたちの安全を守るために暗がりや危険な道路などの危険情報を盛り込んだ防災安心安全マップを作成。海拔高度による色分けと、全地番が付された地図上に情報を入れることで、子どもたちが自分の居場所からの避難ルート及び地域の危険箇所を一目で分かる地図を17,000部作成した。全中学生だけでなく、自治会や小学校、保育所・幼稚園、児童館等にも配布することにより、地域の防災意識及び危険箇所の認知に繋がった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1. 協力体制の確立の難しさ 学校行事や協力者の時間の制約もあって、制作会議の実施調整にとまどった。 2. 情報を掲載する上でプライバシーは風評に配慮する必要があった。	1. 校長会等を通して、学校へのさらなる周知を図るとともに、制作会議の時間帯の見直しを図る。 2. 考えられるケースを想定し、掲載ルールを作成し、情報提供者にこういう表示でいいかをその場で提案できるようにする。
今後の取り組み方針		
1. 自治会長会連合会や警察、教育関連機関、団体で構成され、安全で住みよちまちづくりに関する課題や取り組みについて協議する、那覇市安全で住みよい推進協議会にて、保安灯の普及、促進や、暗い地域の防犯パトロール体制等について検討する。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
9,114	9,114	7,290	1,824	

```

graph LR
    A[那覇市  
9,114千円] --> B[委託料  
8,925千円]
    A --> C[報酬  
76千円]
    A --> D[旅費  
94千円]
    A --> E[需用費  
2千円]
    A --> F[使用料及び賃借料  
17千円]
    
    B --> G[生活地図株式会社  
8,925千円]
    G --- H["中学校区防災安心安全マップ作成にかかる委  
託業務"]
    
    C --> I[那覇市安全で住みよいま  
ちづくり推進協議会部会  
76千円]
    I --- J["部回開催(2回)にかかる非常勤職員報酬"]
    
    D --> K[那覇市安全で住みよいま  
ちづくり推進協議会部会  
及び各中学校調整(制作会議)  
分 94千円]
    K --- L["部回開催(2回)及び各中学校調整(制作会議)  
にかかる費用弁償"]
    
    E --> M[那覇市安全で住みよいま  
ちづくり推進協議会部会  
2千円]
    M --- N["部回開催(2回)にかかるお茶代"]
    
    F --> O["各中学区調整(制作会議) にかかるタク  
シー  
使用料"]
  
```

市町村名	那覇市										
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	13－⑩ 那覇市コンビニAEDステーション設置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－3－(2)－ウ				
担当部課名	消防本部 救急課		事業実施 (予定)年度	平成 2 4 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	観光客の受入体制の整備				
							Ⅲ－10－(2)				
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、24時間営業のコンビニにAEDを貸与し、市民の救命能力の向上と意識啓発に取り組む。										
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）										
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度				
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	39,841								
		(b) 予算現額	39,841								
		(c) 増減額 (b-a)	0								
		(d) 前年度繰越額	－								
		A. 計 (b+d)	39,841	0							
	B. 執行済額		39,474								
	うち交付金充当額		31,579								
	次年度繰越額		0								
	執行率（％）(B/A)		99.1%								
予算の状況の説明		計画どおりに執行した。									
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)			達成状況							
				24年度	25年度	26年度	27年度				
	市内コンビニ100店舗以上にAEDを設置	目 標	(100店舗以上)	()	()	()	()				
		実 績	118店舗								
		目 標	()	()	()	()	()				
		実 績									
	達成 状況 説明	・達成状況が上回った要因としては、コンビニ側の不安材料(AEDを設置した場合の責任問題・安全性・重要性)について、時間をかけて説明することにより理解協力を得られ、又、コンビニ側の地域への社会貢献理念が一致し那覇市内24時間営業の118全店舗に設置できた。									
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)			基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)		
		那覇市内24時間営業コンビニにおける AED設置店舗数(設置率)	目 標	(0%)	(100%)	()	()	()	()		
			実 績		100%						
		目 標	()	()	()	()	()	()			
		実 績									
進 捗 状 況 説 明		・24時間営業のコンビニにAEDを設置計画することにより、公共施設や事業所に設置されているAEDが夜間及び休日に使用できないことやコンビニは市内に広く分布し、24時間利用できるAED設置場所としてはとても有効だと、メディアで大きく取り上げられ広く広報ができた。また消防本部が実施している応急手当講習の受講者も急増し、AEDの重要性が広く広報できた。									

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業を推進するにあたり、全国各地の自治体から多くの問合せがあり、好評価を受けたことから、モデルケースとして資料等の準備が必要。 ・「コンビニ＝AED」「コンビニに行けばAEDがある」という意識づけをするため、更なる広報活動を構築する必要がある。 ・年間数店舗の新規開店や閉店、改装などがあり、「全店舗設置」「いつでもコンビニに行けばAEDが設置されている」状況になることが難しい	・「全店舗設置」「コンビニに行けばAEDがある」というコンセプトから①コンビニの閉店及び改装に伴い、AEDの貸し出しが出来ない場合は、電子触媒等を利用した広報を行う。②新規開店店舗にもオープンにあわせて設置できるよう事前に購入し準備する。
今後の取り組み方針		
・24時間利用できるAEDの観点から、24時間営業の「ファミリーレストラン」「ガソリンスタンド」「ファーストフード店」も視野に入れて拡充を検討したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	39,474	39,474	31,579	7,895
那覇市 39,475千円 31,579千円(交付金充当額) 7,896千円(市町村負担金) 備品購入費 38,850千円 → 株式会社 琉球光和 38,850千円 〔AED本体の購入費〕 需用費 624千円 → 株式会社 シルバーサービス沖縄 624千円 〔AEDパッドの購入費〕				
資金の 使途の 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入費及び需用費の支出先は、入札により決定。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市										
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	13-⑫		災害ボランティア中央センター等整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章－2－(4)－イ		
担当部署名	福祉部 福祉政策課		事業実施 (予定)年度		平成 2 4		沖縄振興基本方針 該当箇所		災害に強い県土づくりと防災体制の強化		
III－10－(2)											
事業内容		地震、津波、台風などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害ボランティア中央センターに配置する備品の整備を行う。									
実施方法		☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）									
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度			
		予算 の 状 況	(a) 当初予算額	3,043							
			(b) 予算現額	3,043							
			(c) 増減額 (b-a)	0							
			(d) 前年度繰越額	－							
			A. 計 (b+d)	3,043	0						
		B. 執行済額		1,861							
		うち交付金充当額		1,489							
		次年度繰越額		0							
		執行率（％）(B/A)		61.2%							
予算の状況の説明		・不要額が1,182千円発生しているが備品整備の入札残によるものである。 ・活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。									
活動目標 (指標) 及び達成状況		H24活動目標(指標)		達成状況							
				24年度	25年度	26年度	27年度				
		・マニュアル策定委員会の設置及びマニュアルの策定	目 標	(マニュアル策定)	()	()	()				
			実 績	マニュアルを策定した							
		・災害ボランティア中央センター備品の整備	目 標	(備品の整備)	()	()	()				
			実 績	備品が整備された							
		達成 状況 説明	・マニュアル策定委員会を設置し、マニュアルが策定された。 ・災害ボランティア中央センターの必要な備品が整備された。								
成果目標 (指標) 及び進捗状況		H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)			
		① 災害ボランティア中央センター等運営マニュアル策定 ② 災害ボランティア中央センター等の備品整備	目 標	(①未策定 ②未整備)	(①策定済 ②整備済)	()	()	()			
			実 績		①策定済 ②整備済						
		【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()		
				実 績							
		進 捗 状 況 説 明	・マニュアル策定委員会を設置し、マニュアル策定済。 ・災害ボランティア中央センターの必要な備品が整備済。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・訓練を通して、策定したマニュアルの検証を行とともに、今回整備した備品の使用方法を確認する。訓練後にマニュアルの改訂や備品の再整備等を含め、今後の検討課題とする。	・整備されたマニュアル及び備品を十分に活用するには、日ごろからの訓練や、マニュアルの内容を熟知し、災害に対応できることである。
今後の取り組み方針		
・マニュアルを活用し避難訓練等を実施する。 ・整備した備品を台風等の小災害等でも活用し、大災害に備える。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,861</td> <td>1,861</td> <td>1,489</td> <td>372</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,861	1,861	1,489	372	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,861	1,861	1,489	372	0										
<pre> graph LR A[那覇市 1,861千円] --> B[交付対象補助金 1,861千円] B --> C[那覇市社会福祉協議会] C --> D[マニュアル印刷代 630千円] C --> E[その他 (通信運搬費・旅費・報償費) 191千円] C --> F[器具什器費 1,040千円] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		補助先である那覇市社会福祉協議会は、那覇市地域防災計画で災害ボランティア中央センター等を立ち上げることが規定されているため、妥当であったと考えている。 費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市						
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	13-⑬	応急給水用簡易貯水槽の購入事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ	
担当部署名	企画財務部財政課 (上下水道局総務課)	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 Ⅲ－10－(2)		
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、災害時における応急給水時の給水拠点となる簡易式の貯水槽(2t)を20基購入して応急給水体制の整備を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,274				
		(b) 予算現額	4,274				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	－				
		A. 計 (b+d)	4,274	0			
	B. 執行済額		3,689				
	うち交付金充当額		2,951				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		86.3%				
予算の状況の説明		・不用額が399千円発生しているが、入札による落札差額であり、当初計画していた事業内容は予定どおり実施しており、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・応急給水用簡易貯水槽(2t)保有数:20基	目 標	(保有数:20基)	()	()	()	
		実 績	保有数:20基				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成 状況 説明	応急給水用簡易貯水槽(2t)を20基を調達し、災害時の応急給水体制を強化できた。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	応急給水用簡易貯水槽保有数:20基	目 標	(0)	(20基)	()	()	()
		実 績		20基			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	応急給水用簡易貯水槽(2t)を20基保有することにより、地震等の災害発生時において応急給水用簡易貯水槽の活用により13,300人への応急給水が可能となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	応急給水用簡易貯水槽(2t)を20基の購入により災害時の応急給水能力は高まったが、運用要領が整備されていない。	災害時における応急給水用簡易貯水槽(2t)を活用した応急給水に関する運用要領の整備。
今後の取り組み方針		
危機管理計画の改定を行い、その中で災害時における応急給水用簡易貯水槽(2t)を活用した応急給水に関する運用要領の整備についても検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,689</td><td>3,689</td><td>2,951</td><td>738</td><td></td></tr> </table> 那覇市 那覇市 2,951千円 負担金 那覇市 上下水道局 3,689千円 ※3,875千円 (消費税込み) たな卸資産購入費 3,689千円 ※3,875千円(消費税込み) 株式会社 アマノ 3,689千円 ※3,875千円(消費税込み) 応急給水用簡易貯水槽 (2t) × 20基の購入					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,689	3,689	2,951	738	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,689	3,689	2,951	738											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	○交付金交付要綱に沿った事業であり、負担金支出は妥当である。											
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○契約については商品の取扱いのある業者を対象に指名競争入札により業者選定しており支出先の選定方法は妥当であったと認識している。											
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目及び使途共にが事業目的に即し真に必要なものに限定されており妥当であったと認識している。。											
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	13-⑩	災害備蓄品整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部・総務課	事業実施 (予定)年度	H24	沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化			
Ⅲ-10-(2)								
事業内容	地震や津波などの自然災害に強いまちづくりを推進するため、大規模災害に備えた非常食糧等の備蓄品を購入し整備する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	59,207					
		(b) 予算現額	59,207					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	59,207					
	B. 執行済額		59,207					
	うち交付金充当額		47,365					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初は、備蓄品の目標数を保管する場所の確保が出来ないことから、備蓄品については5年かけて整備し、その間に保管場所等の検討を進めるという計画を立てていたが、教育委員会から余裕教室の利用について前向きな回答が得られたため、当初計画を変更し、平成24年度で目標数を整備することとしたため、大幅な補正増となった。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	食糧・保存水の購入 ・(人口の20分の1)×3日分 ・各小中学校へ分散備蓄する	目 標	(144,000食)	()	()	()		
		実 績	164,276食					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	地域防災計画上の目標を上回る備蓄食料品を整備することが出来た。 備蓄用の物置も購入し、各小中学校及び市民体育館へ分散備蓄した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	災害備蓄品備蓄率:100%	目 標	(0)	(100%)	()	()	()	
		実 績		114%				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進 捗 状 況 説 明	収容避難所である市内の各小中学校及び那覇市民体育館に、備蓄品を分散保管したことで、どこに避難しても備蓄品の提供を受けられる体制が整った。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	1. 5年以内に大きな災害が起こらなかった場合、5年後に賞味期限切れの備蓄品を大量に抱え込むことになる。 2. 賞味期限の切れる5年後に再度、購入する場合に財政負担が大きい。	1. 大量廃棄処分を避けるべく平時での活用方法を検討する必要がある。 2. 毎年5分の1ずつ購入し、補充する。
今後の取り組み方針		
各学校で毎年開催する避難訓練等の際に5分の1ずつ使用することで、賞味期限切れによる大量廃棄処分を防ぎつつ防災教育、防災意識向上にも役立てる。毎年5分の1ずつ新たな備蓄品の購入、補充をすることで、財政負担や賞味期限を分散させ、備蓄率を維持する。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
59,207	59,207	47,365	11,842	0

```

graph LR
    A[那覇市  
59,207千円] --> B[消耗品費  
50,518千円]
    A --> C[備品購入費  
8,689千円]
    B --> D[有限会社新垣産業  
那覇出張所  
9,231千円]
    B --> E[株式会社 名建産業  
6,476千円]
    B --> F[有限会社明伸商事  
10,430千円]
    B --> G[株式会社 オカノ  
11,271千円]
    B --> H[マチダテクノ 株式会社  
消防・防災部  
13,110千円]
    C --> I[マチダテクノ 株式会社  
消防・防災部  
8,505千円]
    C --> J[株式会社 オカノ  
184千円]
  
```

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	14-②	『なぐやけ』整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ		
担当部署名	総務部 平和交流・男女参画課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	アジア・太平洋地域の安定と平和に資する平和・人権協力外交の展開 Ⅲ-12		
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(沖縄戦)に対応するため、戦後50周年事業の一環として建立された恒久平和モニュメント『なぐやけ』を再整備し、恒久平和の願いを発信する平和都市の記念碑とする。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,935					
		(b)予算現額	4,935					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)前年度繰越額	—					
		A.計(b+d)	4,935					
	B.執行済額		4,912					
	うち交付金充当額		3,928					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.5%					
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに執行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	恒久平和モニュメントの整備:1ヶ所	目標	(1ヶ所)	()	()	()		
		実績	1ヶ所					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	遺族会と調整を図りながら、予定通り年度内に恒久平和モニュメント「なぐやけ」の整備を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)	
	恒久平和モニュメントの整備:1ヶ所	目標	(0)	(1ヶ所)	()	()	()	
		実績		1ヶ所				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	成果目標に掲げた整備を無事完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	遺族会より、「なぐやけ」が那覇市の平和発信のシンボルとして広く認識されていないのではないかと懸念があった。	「なぐやけ」の周知方法の検討
今後の取り組み方針		
那覇市の平和発信のシンボルとして、戦跡・平和ガイドコースを設定する際にそのコースに組み込み、市内外の皆様によりその存在を認識していただくよう努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	4,912	4,912	3,928	984
				交付対象外経費
				0
那覇市 4,912千円 設計工事等委託料 4,912千円 株式会社琉球技研 4,912千円 「なぐやけ」整備設計工事等にかかる業務委託				
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先業者とは地方自治法施行令第167条の2第1項第2号の規定に基づく随意契約を締結。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	那覇市						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	14-③	ライナープレート整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(5)-イ	
担当部署名	総務部・総務課	事業実施 (予定)年度	H24	沖縄振興基本方針 該当箇所	戦後処理問題の解決		
					Ⅲ-12		
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(不発弾処理)に対応するため、処理までの保管と処理時の防護壁となるライナープレートを整備する。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	2,360				
		(b) 予算現額	2,360				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,360				
	B. 執行済額		1,212				
	うち交付金充当額		969				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		51.4%				
予算の状況の説明		・当初予算と比べ、保管用1基と蓋を追加要求したため、918千円の増となっている。 ・不用額が1,148千円発生しているが、物品購入の入札残によるものであり、当初計画していた事業内容はすべて実施しており適正であったと考えている。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	ライナープレート購入 ・処理までの保管用として4セット ・処理時の防護壁として1セット	目 標	(5セット)	()	()	()	
		実 績	5セット				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	不発弾の処理までの保管と処理時の防護壁となるライナープレートを合計5セット購入した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	不発弾処理用 防護壁(ライナープレート)の 整備数:合計5セット	目 標	(0)	(5セット)	()	()	()
		実 績		5セット			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	不発弾の発見から処理までの期間を、保管用ライナープレートを用いることで、安全安心に保管することができる。 また、処理の際は処理用のライナープレートを用いることで避難範囲を狭め、道路の封鎖や公共交通機関の路線変更の範囲を狭めることができ、市民の精神的負担、経済的損失を軽減させられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当初計画していた事業内容はすべて実施しており、不発弾の安全安心な保管・処理に役立つことが期待され、課題は無いと考える。	
今後の取り組み方針		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
那覇市 1,212千円 原材料費 1,212千円 有限会社明仲商事 1,212千円 ライナープレートの購入														
		<table border="1" style="float: right; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="text-align: center;">総事業費</th> <th style="text-align: center;">交付対象 事業費</th> <th style="text-align: center;">交付金 充当額</th> <th style="text-align: center;">市町村 負担金</th> <th style="text-align: center;">交付対象 外経費</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,212</td> <td style="text-align: center;">1,212</td> <td style="text-align: center;">969</td> <td style="text-align: center;">243</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>			総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	1,212	1,212	969	243	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
1,212	1,212	969	243	0										
資金の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○指名競争入札により、事業を実施したため契約業者・契約金額は妥当であったと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成 2 4 年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	14－④	地下壕対策事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ		
担当部署名	建設管理部 建設企画課	事業実施 (予定)年度	平成 2 4 ～ 3 3 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	災害に強い県土づくり防災体制 の強化 Ⅲ－12		
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(地下壕)に対応するため、陥没、落盤等による建築物等の危険度軽減を目的とした壕の埋戻を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	0					
		(b) 予算現額	5,000					
		(c) 増減額 (b-a)	5,000					
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計 (b+d)	5,000	0				
	B. 執行済額		4,200					
	うち交付金充当額		3,360					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		84.0%					
予算の状況の説明		執行残については、業務委託費の入札によるもの。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	地下壕危険度の判定等及び優先度と対策 工の提案	目 標	(危険度判定及び 優先度等提案)	()	()	()		
		実 績	危険度判定及び 優先度等提案					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成 状況 説明	地下壕実態調査検討業務委託を実施し、那覇市内に現存する未対策地下壕の危険度の判定及び優先度と対策工の提案を行った。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)	
	地下壕危険度の判定等及び優先度と対策 工の提案をする	目 標	(ー)	(基礎調査)	()	()	()	
		実 績		基礎調査				
	【参考指標】		目 標	()	()	()	()	
			実 績					
	進 捗 状 況 説 明	地下壕の危険度の判定及び優先度と対策工の提案を行う基礎調査を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○壕の埋め戻しについて、土地所有者等の同意 ○壕の危険度等、状況変化への対応(新たな壕の発見、優先度の見直し)	○関係者、関係部署との連携
今後の取り組み方針		
○壕に関する関係者、関係部署との連携を図り、危険度の高い壕から順次埋め戻し等を行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>4,200</td><td>4,200</td><td>3,360</td><td>840</td><td></td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,200	4,200	3,360	840	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,200	4,200	3,360	840											
那覇市 4,200 千円 → 委託料 4,200 千円 → 川崎地質株式会社 4,200 千円 (地下壕実態調査検討業務委託)														
資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は競争入札方式により選定しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであり適正である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	那覇市							
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	15-① 戦災滅失沖縄関係戸籍の電算化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2			
担当部署名	市民文化部 市民課	事業実施（予定）年度	平成24年度～25年度	沖縄振興基本方針該当箇所	心豊かで、安心・安全に暮らせる島を目指して			
	Ⅲ-12							
事業内容	沖縄の抱える様々な特殊事情(戦争により失われた戸籍の問題)に対応するため、戦災により滅失し、再製された沖縄関係戸籍を電子データ化する。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	74,995					
		(b) 予算現額	74,995					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	74,995	0				
	B. 執行済額		62,839					
	うち交付金充当額		50,271					
	次年度繰越額		0					
	執行率（％）(B/A)		83.8%					
予算の状況の説明		・不用額のうち10,689千円は、業務委託の変更契約による委託料の減額によるものであるが、当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	沖縄関係戸籍の電算化の実施 対象戸籍数：85,000件	目標	(原票読み込み作業の完了)	()	()	()		
		実績	原票読み込み作業の完了					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	沖縄関係戸籍を電子化するための紙原票の読み込み作業(原簿解体→ナンバーリング→原本スキャン→原本戻し入れ)であり予定していた原票はすべて読みを完了した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）	
	沖縄関係戸籍の電算化着手	目標	()	(原票読み込み作業の完了)	()	()	(電算化率 100%)	
		実績		原票読み込み作業の完了				
	【参考指標】市独自調査	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	平成24年度で読み込み完了した沖縄関係戸籍の原票データを電算化するため、平成25年度に業務委託を行い、平成26年3月に沖縄特殊戸籍管理システムを稼働させる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	沖縄関係戸籍は、古い書類のため、読み込んだ画像の写りが懸念される部分も多い。委託業者が見出しデータを作成する際の姓名の文字や本籍地番等の不明瞭な箇所の問い合わせが、多数発生することが予想される。	問い合わせには「見出し不明リスト」を提供してもらい、それに返答することになるが、判断に時間を要することが考えられるので、リストは作業の進捗状況にそって複数回に分けて提供するよう依頼する。
今後の取り組み方針		
限られた期間で「見出し不明リスト」に返答できるよう、戸籍担当職員全員で取り組める体制を作る。 平成25年度は、システム構築を行う。		

今後の取り組み方針

限られた期間で「見出し不明リスト」に返答できるよう、戸籍担当職員全員で取り組める体制を作る。
平成25年度は、システム構築を行う。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
62,839	62,839	50,271	12,568	

那覇市
62,839千円

委託料
61,289千円

沖縄行政システム株式会社
61,289千円

（沖縄関係戸籍の電算化事業
業務委託）

事務費
1,550千円

（共済費、賃金、需用費）

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、現システムとの相互関連性を勘案した上で、随意契約しており、妥当であったと考えている。(地方自治法施行令第167条の2第1項2号に基づく) ○予算規模・費目・使途については事業目的達成の観点から必要かつ適正であり、支出等に関する手続き及び書類も適切に処理している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	